

BLOSSOM

ブLOSSム

2～4人 | 30分 | 10歳以上

ルール説明書

花には季節というものがあります

花を育てて飾る

それだけのことに、時季を見定めなくては
なりません

あなたは見事な花を咲かせるでしょうか
それとも季節に心乱されて終わるでしょうか？

内容物

花カード	33枚
一番手カード	1枚
得点トラックカード	2枚
得点マーカー	8個

1

ゲームの流れ

親から始めて、時計回りに順番を交代します。
自分の番が来たら、以下のアクションイ～ハから
2つのアクションを選んで好きな順番で行います。
同じアクションを2回選んでも、違うアクション
を2つ選んでもかまいません。

アクションの中には好きな枚数のカードを選べる
ものがありますが、どのアクションでも少なく
とも1枚はカードを選んでください。

イ. 庭の花を育てる

自分の庭に花カードを出します。このアクション
にはA～Cの3種類があり、1回のアクション
ではそのうちの1つだけを行えます。

- 手札から何種類でも好きな枚数を選び、自分の
庭へ裏向きに出します。
- 手札から好きな1枚を選び、自分の庭へ表向
きに出します。
- 自分の庭から何種類でも裏向きのカードを好
きな枚数選び、表に向けます。

自分の庭の裏向きのカード内容はいつでも見ら
れます。他人の庭の裏向きのカード内容は見られ
ません。庭にカードが5枚あるときは、AとBは
選ぶことができません。

4

準備

- 最近花を植えた人が親になり、一番手カード
を手元に置きます。親は花カードを裏向きで
よく混ぜ、2人戦では2枚、3人戦では1枚
を裏向きのまま箱に戻します。
- 次に親は、全員に花カードを3枚ずつ手札と
して裏向きに配ります。ゲーム中、手札の内
容は自分だけが見られます。
さらに、テーブルの中央に表向きで5枚配り
ます。ここを「花壇」と呼びます。花壇のカー
ドは、種類ごとに枚数がわかるようにまとめ
ておくといいでしょう。
残りのカードは裏向きの山札として、花壇の
横に置きます。
- 得点トラックカード2枚を、全員の手の届く
ところにつなげて並べます。全員に得点マー
カーを2枚ずつ配り、1枚は得点トラックの
0点のマスに置き、もう1枚は目印として各
自が持ちます。

自分の手前のスペースを「庭」と呼び、ゲーム
中はここにカードを置いていきます。手札の上限、
庭に置ける枚数の上限は、いずれも5枚です。自
分の番の途中であっても、一瞬でも6枚以上にす
ることはできません。
花壇の枚数に制限はありません。

2

ロ. 花を花壇に飾る

自分の庭にある表向きの花から1種類を選び、
好きな枚数を花壇に置いて得点します。花の種類
によって、1枚ごとの得点が異なります。詳しくは、
裏面p.7の【花の得点】を参照してください。

置いた枚数分の得点を合計し、自分の得点マー
カーを得点トラックカード上で進めます。得点ト
ラックの目盛は3点刻みになっており、合計点の
1～2点の端数は切り上げて得点します。

その後、置いたカードをすべて、1枚ずつ見え
るように花壇へ表向きに置きます。

ハ. カードを1枚引く

山札の上からカードを1枚引くか、またはテー
ブル中央の花壇から好きなカードを1枚選んで手
札に入れます。

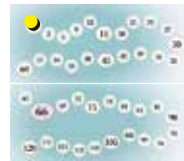
- 手札が5枚あるときは、このアクションを選
べません。
- 同じ番に、花壇から2回続けて引くことはで
きません。したがって、同じ番にこのアクショ
ンを2回選ぶときは、少なくとも1枚は山札
から引かなければなりません。
- 1回目のアクションで花壇に置いた花を、同
じ番の2回目のアクションですぐに花壇から
引くことはできません。

5

【準備の例】



他プレイヤー（庭と手札）



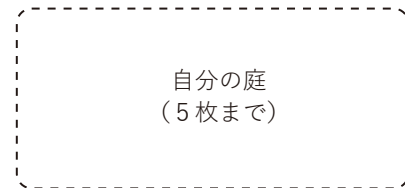
得点トラックカード
(0のマスにマーカー)



山札



花壇



自分の庭
(5枚まで)



自分の手札
(5枚まで)

3

山札がなくなったら

ゲーム中、山札が空になったら、ただちに花壇
のカードをすべて集めて、裏向きにしてよく混ぜ
直し、新しい山札を作ります。これは誰かのアク
ションの途中でも行います。ただし、準備のとき
のように花壇にカードは並べません。

ゲームの終わり

誰かが66点に到達したら、親（一番手カード
を持っている人）の右隣の番まで行くとゲームは
終わります。親の右隣の人が66点に達したら、
その人の番が終わるとすぐにゲームは終わります。

もっとも得点が高い人の勝利です。同じなら、
手札と庭に残したカード枚数の合計がより少ない
人の勝利です。

6

花の得点

花カードは6種類あり、花壇に飾ったときの得点が異なります。桜は3枚、ほかはすべて6枚です。

花の得点を計算するときは、《全員の庭 + 花壇》のカードを見ます。手札と山札は見ません。表向きの花を数えるときは、飾るカード自体も常に枚数・種類に含めます。

花壇に飾るときの1枚の得点は、次のとおりです。合計した得点が3点単位で切り上げられることに注意してください。



菊

全員の庭にあるカードの合計が、表のほうが多ければ7点。表裏同数か裏のほうが多ければ2点。

(例) 全員の庭に表のカードは5枚、裏のカードは3枚ある。このとき菊は1枚7点になる。菊2枚を飾ると14点になるので、端数を切り上げて15点を得た。

7



椿

全員の庭にある裏向きのカード2枚ごとに+4点。

(例) 全員の庭に裏向きのカードが計5枚ある。このとき椿は1枚8点になる。椿2枚を飾ると16点になり、端数を切り上げて18点を得た。



鈴蘭

全員の庭にある鈴蘭1枚ごとに+2点、かつ花壇にある鈴蘭1枚ごとに+1点。

(例) 鈴蘭が全員の庭に計2枚、花壇に1枚ある。このとき鈴蘭は1枚5点になる。鈴蘭2枚を飾ると10点になり、端数を切り上げて12点を得た。

8



薔薇

2点+花壇の花1種類ごとに+1点。

(例) 花壇の花が、薔薇を含めて計2種類ある。このとき薔薇は1枚4点になる。薔薇2枚を飾ると8点になり、端数を切り上げて9点を得た。



アネモネ

全員の庭と花壇にある、すべての表向きの花4枚ごとに+2点。

(例) 表向きの花が、全員の庭に計5枚、花壇に6枚、計11枚ある。このときアネモネは1枚4点になる。アネモネ1枚を飾り、端数を切り上げて6点を得た。

9



桜

このカードは1枚ずつしか飾ることができない。

0点で飾り、山札の上から3枚まで取って手札に入れることができる。または6点で飾る。

手札が3枚以上のときも0点で飾ってよく、手札が5枚になるまで山札から取る(0~2枚を手札に入れる)。

(例) 桜1枚を0点で飾り、山札から2枚を手札に入れたところで山札が空になった。花壇のカードを集め直して新しく山札を作り、3枚目を引き、桜を花壇に置いた。

10

選択ルール：手札交換

ゲームの準備にて、手札が配られた後、花壇に5枚配る前に、各プレイヤーは一度だけ手札を交換できます。

親の左隣から時計回り順に、手札から交換したいカードを裏向きにテーブルの中央に戻します。親は戻されたカードをすべて集めて残りのカードと一緒によく混ぜ直し、全員の手札が3枚になるように再び配ります。その後は花壇に5枚カードを配り、通常ルールと同様に準備します。

11

Game Design by Kazuma Suzuki
Portrait Art by Gonzo
Botanical Art by Nokia Inoue『令和乙女素材』
(<https://booth.pm/ja/items/4731896>)

Playtest by Akito, Koin Ayabane, Imasa, Kumaneko,
Shintaro Mori, Piyora, Rikkati, Ryukokudou,
Zoo_Miyagawa (alphabetical order)

©2025 Tarte Games
ウェブサイト: tartegames.com
お問い合わせ: tartegamestokyo@gmail.com